



2009年5月12日

スカパーJSAT 株式会社

～日本初のクラウド・ストレージサービス～ S*Plex3 クラウド・ストレージサービスの提供開始について

スカパーJSAT 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：秋山 政徳、以下スカパーJSAT）は企業が扱う大容量のデータを安全に蓄積するネット上のサービスとして、クラウド技術を利用した S*Plex3（エस्पレックス スリー）クラウド・ストレージサービスの提供を6月1日から開始いたします。

通信の形態は従来の「送信・受信」からインターネット的な「送信・蓄積・受信」に変化し、大容量のデータを安全に蓄積するクラウド・ストレージ基盤が必要とされています。今回スカパーJSATは衛星放送・通信事業で培った技術を応用した日本初のクラウド・ストレージサービスを事業化いたします。

S*Plex3 クラウド・ストレージサービスは、デジタル衛星放送・通信の基礎技術である消失訂正符号（降雨時に送信パケットが無くなっても問題なく復元できる仕組み）の応用と、集中管理機能を排除しながら多くのストレージ装置を広域に、且つフラットに分散配置できる仕組み（**特許出願中**）により、巨大なストレージ基盤を提供するサービスです。これまでの仕組みでデータの保存を行う場合の課題は、機器の障害対策やセキュリティ維持のために高価な冗長構成や万全な運用体制が必要となることでしたが、本サービスはデータを暗号化のうえ断片化し、地理的に分散保管することで、機器障害や災害によって一部のデータセンターがアクセス不能になった場合にも、サービスが停止することなく継続してご利用いただけます。更に利用規模に応じたコスト面の柔軟性もご提供いたします。

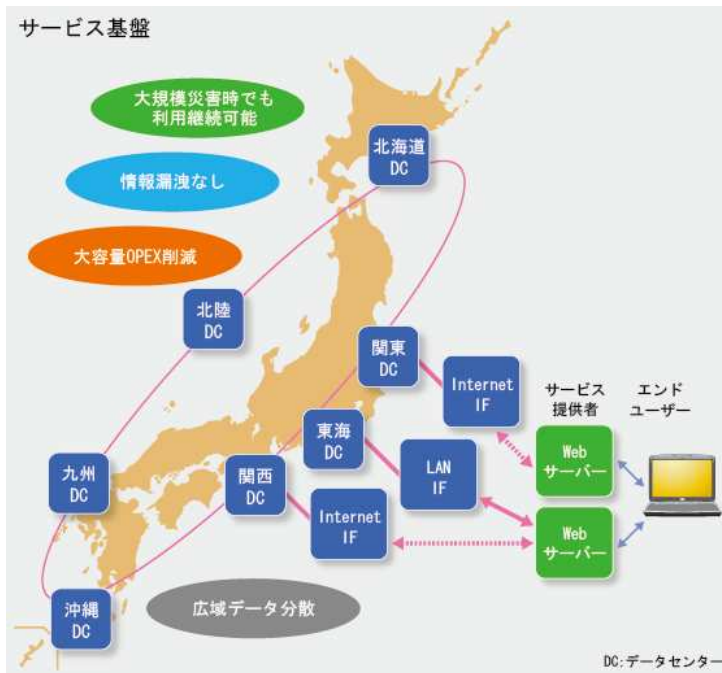
スカパーJSATでは、本サービスのために北海道から沖縄までの日本全国7地域8ヵ所のデータセンターを光ファイバー網で結ぶことで災害に強いクラウド・ストレージのサービス基盤を構築いたしました。これらのデータセンターにおいては、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社、北海道総合通信網株式会社、株式会社インターネットイニシアティブ、株式会社ビック東海、株式会社インテックの各社様のセキュリティポリシーに基づくセンター運用を分担いただく事で、安全なサービス基盤を実現しています。

(ご参考)

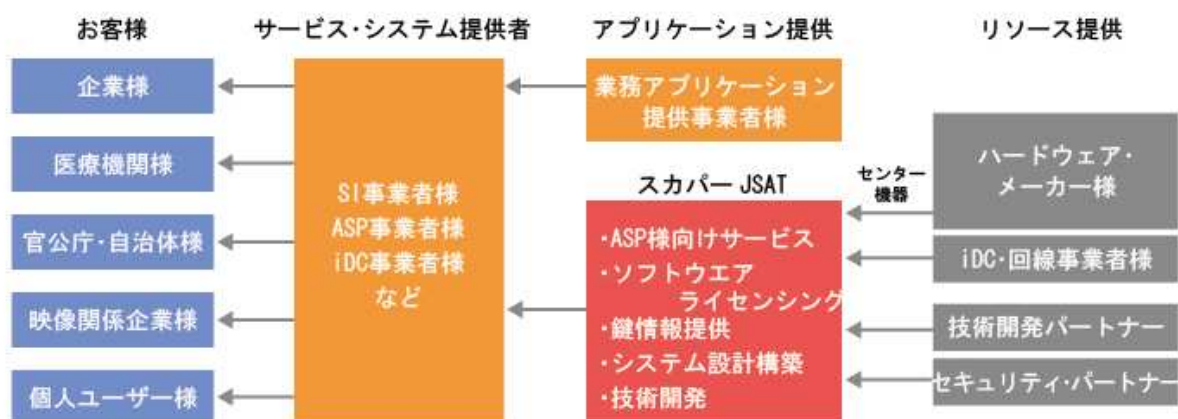
■ S*Plex3 について

Plex は異なったものが複合し複雑な網状の巨大な構造物を構成する、という語感を持つ接尾語で、三つのSは(1)セキュリティの確保 (Secure) (2) 災害や機器障害に強いネットワーク・ストレージ基盤 (Survivable) (3) 柔軟な規模拡張の実現 (Sophisticated) を示します。

■ S*Plex3 クラウド・ストレージサービスのサービス基盤



■ S*Plex3 クラウド・ストレージサービスのビジネスモデル



■ S*Plex3 クラウド・ストレージサービスのご紹介 Web サイト

次の URL にてサービスの内容をご覧くださいことができます。

<http://www.splex3.com/>